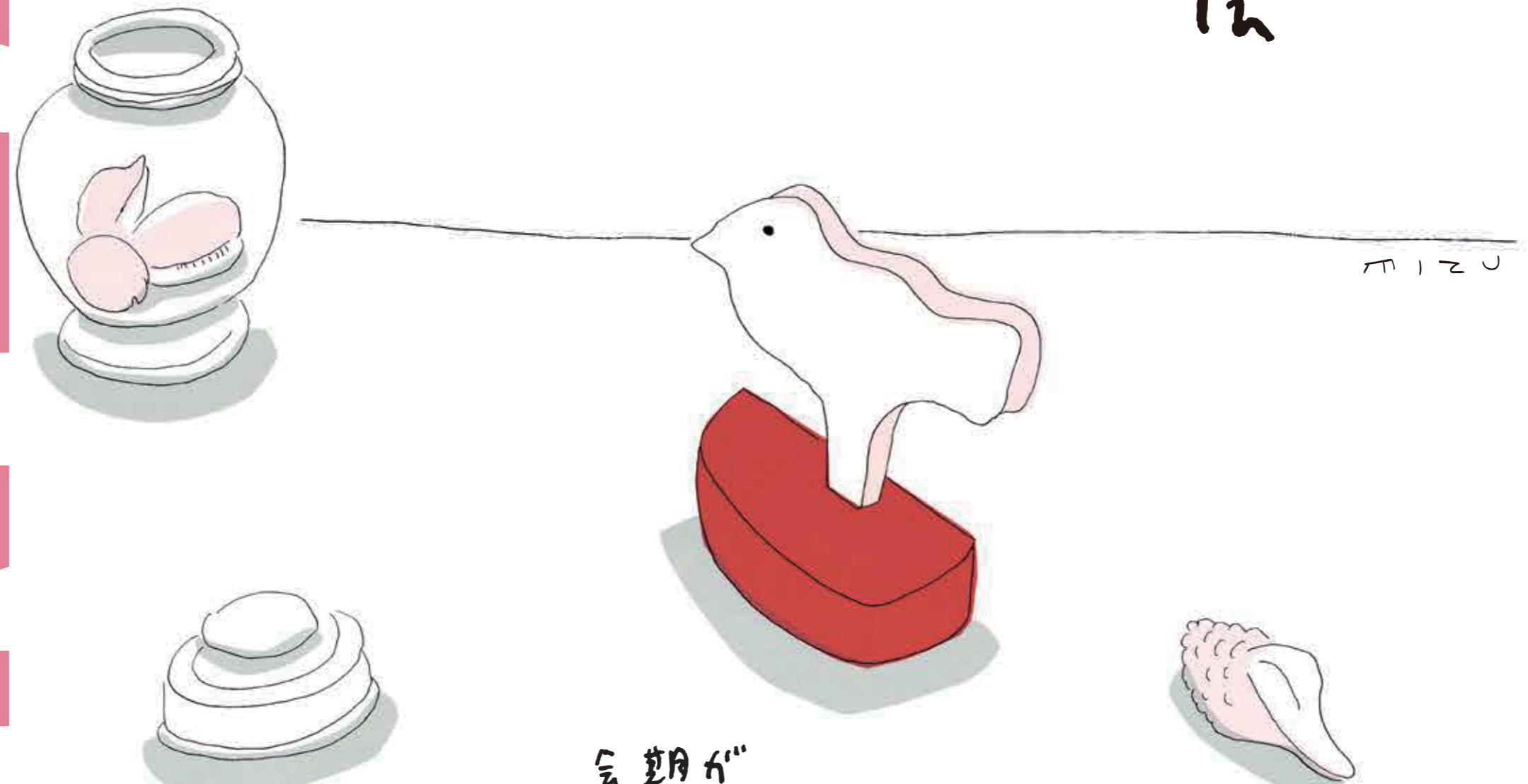


the
work
of
Illustrator
A

MINUMA
exhibition
archive

Illustrated by Mizumaru Arizai ©Masumi Kishida

イラストレーター 安西水丸 展



会期が
になりました!

4/24(土)-9/20(月祝)
2021

世田谷文学館

会場撮影OK! #みどまるせたぶん

157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10
Tel.03-5374-9111
www.setabun.or.jp

開館時間：10:00-18:00(展覧会入場、ミュージアムショップは17:30まで)

休館日：毎週月曜日(ただし5/3、8/9は開館、5/6、8/10は休館)

観覧料：一般 900(720)円/65歳以上・高校・大学生 600(480)円/小・中学生 300(240)円、

障害者手帳をお持ちの方 400(320)円 ※()内は20名以上の団体料金

主催：公益財団法人せたがや文化財団 世田谷文学館 監修：安西水丸事務所

協力：嵐山オフィス／村上事務所／和田誠事務所／東京イラストレーターズ・ソサエティ

SPACE YUI／クリエイションギャラリー G8(リクルートホールディングス)

企画協力：クレヴィス 会場設計：DO.DO. 後援：世田谷区／世田谷区教育委員会

*4/24(土)は開館記念観覧料無料 *4/30(日)は65歳以上無料

the work of illustrator ANZAI MIZUMARU exhibition

- ①雑誌「イラストレーション」玄光社 2011
- ②「がたん ごとん がたん ごとん」
- ③展覧会出品作 制作年不詳
- ④漫画『青の時代』原画 青林堂 1980
- ⑤小説『アマリス』新潮社 1989
- ⑥『日本の文学』近代編 装丁 ほるぶ出版 1985
- ⑦「JALプランナー」ポスター 日本航空 1988
- ⑧傘 チャリティー出品作 2001
- ⑨「バル・ピアス」歌詞カード 松任谷由実 1982
- ⑩靴 チャリティー出品作 2010
- ⑪村上春樹「中国行きのスロウ・ポート」装丁 中央公論社 1983
- ⑫雑誌「ピクリハウス」バルコ出版 1984
- ⑬嵐山光三郎との共著絵本「ピッキーとボッキー」福音館書店 1993
- ⑭嵐山光三郎「口笛の歌が聴こえる」装画 新潮社 1985
- ⑮『恵比寿大黒』2004 和田誠との二人展より
- ⑯和田誠との共著たち
- ⑰安西が蒐集したモチーフたち
- ⑱幼少期に描いたターザン
- ⑲大学の卒業制作「オーシャンと11人の仲間たち」1965
- ⑳「ニッポン・あつこっこ」より 1999
- ㉑旅グッズいろいろ
- ㉒『口笛の歌が聴こえる』1985
- ㉓タイトル不明 1994頃
- ㉔『チューリップ』2000
- ㉕『象工場のハッピーエンド』より 制作年不詳

安西水丸は、1970年代より小説、漫画、絵本、エッセイや広告など、多方面で活躍したイラストレーターです。はじめ広告代理店や出版社に勤め、デザイン等の仕事をしながら、嵐山光三郎の勧めで「ガロ」に漫画を掲載、南房総で過ごした日々などを題材とした『青の時代』が高い評価を受けます。独立後は、村上春樹をはじめとする本の装幀や、『がたん ごとん がたん ごとん』などの絵本、和田誠との展覧会、広告や執筆活動など、幅広く活躍しました。「その人にしか描けない絵」を追求し、身近なものを独自の感性で表現した作品は、私たちをユーモアと哀愁あふれる世界へと誘います。本展では、「小さい頃よりずっと絵を描くことが好きだった」という安西の幼少期から晩年に至るまでの足跡を、原画と関連資料あわせて500点以上によりご紹介します。加えて、「旅」をテーマにした特別コーナー「たびたびの旅」では、旅にまつわる原画、原稿、郷土玩具、民芸品など初出品資料を含む約130点を展示。生涯で国内外のさまざまな場所を訪れた「旅する人」・安西水丸にも迫ります。

1

ぼくの仕事

装丁・装画、絵本、漫画、雑誌、エッセイ、広告、立体物など多様な仕事を紹介。



3000人の募集
JALプランナー



2

中国行きのスロウ・ポート

村上春樹



3

ぼくと3人の作

嵐山光三郎



4

ぼくのまた道

和田誠



5

関連企画

館内 「水丸さんのがたんごとん」

<どこでも文学館>新作パネル特別展示

会期中、安西水丸の絵本をテーマにした出張展示パネルをお披露目します。入場無料
会場:世田谷文学館1階文学サロン

6

※ほかにもイベントを予定。詳細はHPをご覧ください



7

関連展示 at 安西水丸ポスター展 生活工房

安西水丸がデザインしたポスター約20点を一堂に展示。入場無料
2021年7月3日(土)~18日(日)9:00~21:00 ※月曜休
会場:生活工房ギャラリー(東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋駅」駅直結
キャットタワー3階) ※詳細は世田谷文学館HPをご覧ください

8

3000人の募集
JALプランナー



9

世田谷文学館

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山1-10-10 (京王線「芦花公園駅」から徒歩5分) Tel.03-5374-9111
www.setabun.or.jp

・京王線「芦花公園駅」南口から徒歩5分・小田急線「千歳船橋駅」から京王バス(歳23系統「千歳烏山駅」行)「芦花恒春園」下車徒歩5分



安西水丸 あんざい・みづまる (1942-2014)

東京生まれ。イラストレーター。日本大学芸術学部美術学科造形コース卒業。電通、ADAC(ニューヨークのデザインスタジオ)、平凡社でアートディレクターを務めた後、フリーのイラストレーターに。広告、雑誌の表紙や挿絵、書籍の装画ほかで活躍のかたわら、小説、エッセイ、漫画、絵本などの自著も多く手掛け、今なお高い人気を博している。朝日広告賞、毎日広告賞、1987年日本グラフィック展年間作家優秀賞、1988年キネマ旬報読者賞など受賞多数。

旅先のヴェネツィアにて
2010年



ここだけの
水グッズもたくさん
揃っています

作品集
会場
限定
装丁版

漫画
『青の時代』
展示に合わせ
名著復刊!

*4章の作品は
展示替えを行います:
6/29(木)以降予定

安西水丸が描いた原画や本展
のために復刻制作された作品な
どを展示。

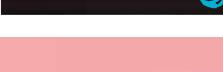
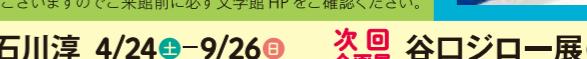
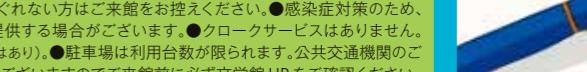
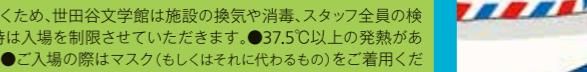
Special

たべたかの旅

『地球の細道』『a day in the life』
を中心に、旅にまつわる作品やオブジェなどを紹介する特別展示。



ご来館にあたってのお願い お客様に安心してご鑑賞いただくため、世田谷文学館は施設の換気や消毒、スタッフ全員の検温など感染症予防対策を取り組み開館しています。●混雑時は入場を制限させていただきます。●37.5℃以上の発熱がある方は入館をお断りします(入館時に検温させていただきます)。●ご入場の際はマスク(もしくはそれに代わるもの)をご着用ください。●咳、咽頭痛等、風邪のような症状がある方、体調がすぐれない方はご来館をお控えください。●感染症対策のため、お客様の個人情報を必要に応じて保健所等の公的機関に提供する場合がございます。●クローケルサービスはありません。大きなお荷物での入場はご遠慮ください(ペッカード置き場はあります)。●駐車場は利用台数が限られます、公共交通機関のご利用をお願いいたします。●その他、注意事項の追加・更新がございますのでご来館前に必ず文学館HPをご確認ください。



同時期開催
コレクション展
受贈記念 夷齋先生・石川淳 4/24(土)~9/26(日)

次回
企画展
谷口ジロー展(仮称) 10/16(土)~2022年2/27(日)予定